

ウィパス社の鶏肉部門が 欧州のトップクラスに

2012年に、鶏肉処理の成功事例として、ウィパス社が業務を変革し、欧州の先端企業の仲間入りをすることを旨とする主要な戦略投資のフェーズ1を終了しました。このプロジェクトを実施するため、同社はビジョンの実現をサポートできるテクノロジーパートナーを慎重に選出しました。計量と包装の実績から、同社はイシダと協力することを決定しました。

ウィパス社はポーランドの大手ペットフード供給会社で、ムラワの5,000bph(1時間あたりの羽数)の施設を買収して、2010年に最初に鶏肉処理へと多角化しました。

過去2年間でフェーズ1の改善が終了し、同社は処理羽数を2倍以上に増やし、1日あたり9万羽超を処理できるようになりました。ただし、単に羽数を増やせばいいという問題ではありません。これまでの製品は、主に大量包装の鶏肉や鶏肉の部位であり、通常は重量ベースでパック価格が設定されていました。しかし現在では、ほぼすべてが固定重量の少量包装で付加価値の高いMAP(ガス置換包装)に重点が置かれています。

フェーズ1の範囲

フェーズ1には、生鳥の収集と受け入れ施設の同時最新化と、裁断から包装された製品までの手順全体のオートメーションが含まれます。

イシダは、ウイングとフィレにそれぞれ1つずつ、別のレッグカットに2つの、最新式の4つの包装ラインを設置しました。主に進歩した点は2つあります。1つは、収益性の実現に必要な一定重量包装を可能にする正確な計量技術の採用です。もう1つは、ウィパス社製品を欧州で最高級のスーパーマーケットチェーンの冷蔵庫にたやすく陳列できるようにする、広範囲のパック検査およびテストシステムです。

同社にとって重要な3つ目の要素は、包装や製品の種類についての市場ニーズに対応できる柔軟性の高いラインです。

精度の重要性

ウィパス社の新しいイシダのラインは、裁断ラインからイシダの組合せ式計量機への鶏肉の送り込みから始まります。大抵の場合はスクリーフィーダーモデルが採用されており、粘着性のある新鮮な鶏肉を、スクレーパーゲートを搭載したホッパーに優しくしっかりと押し出します。計量機は非常に正確に各分量に分け、その後その分量を計量バッチャーのレーンに配置してオペレーターに送り、オペレーターがトレーに包装し、必要な場合は形を整えます。イシダの優れた計量精度は、無駄を削減し、所定の鶏肉から一定重量包装の生産量を最大化するためには不可欠です。



度重なる検査

ウィパス社は、最新のテクノロジーを活用して、現地の競合他社の先を行き、欧州の大手処理業者と直接競争することを決定しました。トップクラスの小売業者とそのお客様にアピールするため、同社はトレーの外観を最高級のものにしてはいますが、これは、高度なイシダのトレーシーラーを新しいラインに使用するとともに、正確なイシダの視覚検品システムで正しいブランドニングとラベルの配置を行うことによって実現しています。主要ブランドオーナーの観点から見てより重要なことですが、イシダのX線システムと金属検出装置を組み合わせることによって、金属などの混入物（フィレ内の骨など）を厳格に除去するとともに、他のトレーシーラー機能で、各製品に正確なガス置換包装が使用されていることを確認しています。その後、イシダのシールテスターが、包装からの漏れリスクをなくすことによって、ガスが安全に維持されていることを確認しています。

信頼性の高い包装データ

現在のウィパス社の設定のもう1つの機能は、データの整合性です。密封パックとラベルに印刷されているすべての情報についても、イシダの統合シールテスト/視覚検品システムによって検査され、ライン装置や会社の工場、および全社的なデータリソースの情報と照合されます。そのため、お客様は重量や保存可能期間などの数値を完全に信頼することができます。

イシダは、包装工場の全体的なコンセプトとレイアウト、さらにはライン装置の提供について、ウィパス社と密接に連携しました。

工場長のジャセック・ジェロニク氏いわく、「当社の見解では、管理された製品品質、最新のテクノロジー、そして柔軟性が、国内市場とグローバル市場での成功の鍵となっています。ウィパス社が取得したイシダのテクノロジーにより、特定の顧客要件を満たす製品を提供することができます」

「当社はムラワでのプロジェクトのフェーズ1を完了し、フェーズ2が既に進行中です。フェーズ2では、イシダを含むパートナーと協力し、1時間あたり1万3,500羽を処理して、世界で最も技術的に進歩した工場に名を連ねるべく邁進します」

イシダの組合せ式計量機は、固定重量包装を信頼性と一貫性の高い方法で提供し、高精度で不良品を最小限に抑えることによって収益性を確保するうえで、中心的な役割を果たしています。ここに紹介したモデルは、回転式送り込みシュートで、フィレを分割し、柔軟なスクリーフィーダーを使用して、計量ホッパーに優しく送り出しています。



株式会社イシダ

東京支社 東京都板橋区板橋1丁目52番1号 〒173-0004 TEL.(03)3964-4300(直)
大阪支店 大阪府吹田市江の木町26番20号 〒564-0053 TEL.(06)6310-9282(直)